

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護学概論
開講時期	1年次 8月～10月
単位数	1
時間数	15
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	1. 成人看護学の対象である大人について成人期の特性が理解できる。
	2. 成人期にある人が心身ともに成長・成熟し、社会において大人になっていく過程について生涯発達の視点から理解できる。
	3. 成人の健康問題の特長について理解する
	4. セクシュアリティの特徴について生物学的・心理・社会的側面から理解する。
	5. 成人の生活を通して 働くこと、生活を営むことが人生を歩んでいる生活者として理解できる。
授業内容	1. 成人看護の概念
	2. 成人期にある人の特性 1)成人期の発達課題の特徴 ・青年期、壮年期、向老期の身体的特徴 ・青年期、壮年期、向老期の心理・社会的特徴
	3. 対象の生活 ・生活を営むこと ・仕事を持ち、働くこと ・家族からとらえる大人
	4. 健康をおびやかす要因と看護 1)健康バランスの構成要因 2)健康バランスに影響を及ぼす要因 3)生活行動がもたらす健康問題とその予防
	5. 人生をたどること
授業形式	講義・グループワーク
テキスト	成人看護学概論(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	成人保健	
開講時期	1年次10月～2月	
単位数	1	
時間数	30	
担当講師	専任教員	
科目目標	成人各期における保健問題を捉え、健康の保持・増進・疾病予防のために保健活動と看護の役割を理解する	
	1. 成人の健康問題に関わる諸要因 2. 成人の保健問題の動向と対策 1)生活習慣病による健康問題の現状と推移 2)職業性疾患の要因と健康診断の受診行動 3. 成人を対象とした保健対策 1)ヘルスプロモーション 2)健康日本21 3)職業に関連する保健施策	
授業内容	4. 成人学習理論	
	5. 意思決定の支援	
	6. セルフケア・自己管理支援 1)セルフケア 2)ストレスコーピング 3)病みの軌跡 4)エンパワメント 5)自己効力感	
	7. 心理的葛藤への対応 1)危機理論 2)ボディイメージの変容への援助 3)障害受容	
	8. 社会的支援への獲得への援助	
	授業形式	講義・グループワーク
	テキスト	成人看護学概論(医学書院) 国民衛生の動向 看護学生スタディガイド(照林社)
	評価方法	記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅰ 周手術期(術前・術後)
開講時期	2年次 5月～6月
単位数	2
時間数	45(8)
担当講師	帯広協会病院看護師
実務経験者	○
科目目標	1. 手術療法を受ける対象と必要な看護が理解できる。
授業内容	1. 周手術期看護の目的と役割 2. 手術療法と生体反応 3. 手術療法を受ける患者の術前の看護 手術前看護 手術直前看護 4. 手術を受ける患者の術後の看護 1)ドレーン管理 2)疼痛管理 3)低侵襲的治療(腹腔鏡下手術)を受ける患者の看護 4)胃癌患者の看護 5)大腸癌患者の看護 6)乳房切除患者の看護
授業形式	講義
テキスト	臨床外科総論(医学書院) 臨床外科各論(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅰを総合して 記述試験(100点満点)

授業科目	成人看護援助論Ⅰ 周手術期(術中)
開講時期	2年次 9月～10月
単位	2
時間数	45(7)
担当講師	帯広協会病院看護師
実務経験者	○
科目目標	1. 手術療法を受ける対象と必要な看護が理解できる
授業内容	1. 手術療法を受ける術中の看護 1)手術中の看護の要点 2)手術室における看護の展開 3)手術室の環境管理
授業形式	講義
テキスト	臨床外科総論(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅰを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅰ ME機器
開講時期	2年次前期
単位数	2
時間数	45(7)
担当講師	株式会社 ムトウ
実務経験者	○
科目目標	1. ME機器を安全に取り扱うために必要な基礎知識を学び、安全対策を理解する
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱いについて ・人工呼吸器について ・生体情報センター AEDについて
授業形式	講義・演習
テキスト	なし 授業で資料提示
評価方法	成人看護援助論Ⅰを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅰ 回復期
開講時期	2年次8月～9月
単位数	2
時間数	45(8)
担当講師	帯広協会病院 理学療法士
実務経験者	○
科目目標	1. リハビリテーションの概念を学び、リハビリテーションにおける看護の役割を考える。
授業内容	1. リハビリテーション概念について 2. リハビリテーション医療システム 3. 言語聴覚療法の概論 4. 障がいの理解 5. 早期離床に向けた援助 6. リハビリテーション演習 ・補助具・自助具の活用
授業形式	講義
テキスト	なし 授業で資料提示
評価方法	成人看護援助論Ⅰを総合してレポート(100点満点)

授業科目	成人看護援助論Ⅰ 終末期
開講時期	2年次10月～12月
単位数	2
時間数	45(15)
担当講師	専任教員・帯広協会病院認定看護師
実務経験者	○
科目目標	1. 人生の最期の時にある人の健康生活を理解するために、人間にとっての死、全人的痛み、死とともに生きることについて理解できる 2. 緩和ケアの歴史および現状、各種ケアについて理解することができる 3. 終末期にかかわる患者と支える家族に対するケアの必要性と援助の方法について理解できる
授業内容	・終末期医療の現状 ・キューブラ・ロス「死ぬ瞬間」ほか ・死の準備教育 ・死の兆候 ・全人的苦痛(トータルペイン)とその援助 ・エンゼルケア・メイク ・葬送儀礼、文化 ・緩和ケアにおける意思決定支援 ・緩和ケアの歴史と現状 ・チーム医療における看護の役割 ・身体的ケア(がん化学療法を含む) ・精神的ケア ・スピリチュアルケア ・社会的ケア ・家族ケア・グリーフケア
授業形式	講義
テキスト	緩和ケア(医学書院) 授業で資料提示
評価方法	成人看護援助論Ⅰを総合して記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅱ 呼吸器(概論)
開講時期	2年次4月～5月
単位数	2
時間数	45(14)
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器疾患の動向、医療・看護の変容を学び、質を求められた看護の重要性を理解する。 2. 呼吸器の障害を持つ対象の特徴を学び、対象に起こりやすい看護上の問題を明確にできる。 3. 呼吸器に障害をもつ対象に対する看護の基本を理解し、看護援助の方法を学ぶ 4. 呼吸器に障害を持つ対象の主要症状を緩和するための看護を理解する。 5. 呼吸器に障害を持つ対象の主な治療・処置検査に伴う看護を理解する。 6. 呼吸器に障害を持つ対象の特徴・問題を踏まえ看護過程を展開する。
授業内容	<p>呼吸器障害を持った患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の動向と看護 2. 患者の特徴 3. 看護の役割 4. 呼吸器疾患を持つ対象のアセスメントの視点(機能的健康パターンの視点) 5. 疾患の経過と看護 6. 症状に対する看護 (咳嗽・喀痰・血痰・喀血・胸水・呼吸困難ある患者の看護) 7. 検査を受ける患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 喀痰検査 2) 胸水検査 3) 呼吸機能検査 (換気機能検査・ガス交換機能検査) 8. 治療・処置 <ol style="list-style-type: none"> 1) 人工呼吸器を装着する患者の看護 2) 呼吸理学療法を受ける患者の看護 3) 胸腔ドレナージを受ける患者の看護 9. 看護過程の展開 <ol style="list-style-type: none"> 1) データベースアセスメント 2) 関連図 3) 問題の優先度と共同問題・看護診断
授業形式	講義・グループワーク
テキスト	ヘルスケアアセスメント(メディカ出版) 看護診断ハンドブック 成人看護学②呼吸器(医学書院) スタディガイドブック(照林社)
評価方法	成人看護援助論Ⅱを総合して 記述試験(100点満点)

授業科目	成人看護援助論Ⅱ 呼吸器(疾患看護)
開講時期	2年次5月～6月
単位数	2
時間数	45(6)
担当講師	帯広協会病院 看護師
実務経験者	○
科目目標	1. 呼吸器疾患の病態を踏まえ、各疾患を持つ対象の看護を理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症性疾患(肺炎・気管支炎・胸膜炎)患者の看護 2. 結核患者の看護 3. 気管支喘息患者の看護 4. 慢性閉塞性肺疾患患者の看護 5. 肺がん患者の看護
	講義
テキスト	成人看護学②呼吸器(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅱを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅱ 循環器(概論)
開講時期	2年次4月～6月
単位数	2
時間数	45(15)
担当講師	専任教員
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患を持つ対象の特徴と起こりやすい問題を理解する。 2. 循環器疾患を持つ対象の看護の目的・役割と経過に応じた基本的看護を理解する。 3. 循環器疾患を持つ対象に起こりやすい症状の基本的看護を理解する。 4. 循環器疾患を持つ対象の特徴・問題を踏まえ、看護過程を展開する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の動向と看護 2. 循環器疾患を持つ対象の特徴と起こりやすい問題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 身体的問題 2) 心理社会的問題 3. 経過別看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 急性期の看護の役割 2) 回復期の看護の役割 3) 慢性期の看護の役割 4) 継続看護 4. 症状別看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 胸痛のある対象の看護 2) 動悸・不整脈のある対象の看護 3) 浮腫のある対象の看護 4) チアノーゼのある対象の看護 5) 四肢に疼痛のある対象の看護 6) ショックを起こした対象の看護 5. 事例・看護過程 <ol style="list-style-type: none"> 1) データベースアセスメント 2) 関連図 3) 問題の優先度と共同問題・看護診断
授業形式	講義
テキスト	成人看護学③循環器(医学書院) ヘルスケアアセスメント(メディカ出版)
評価方法	筆記試験

授業科目	成人看護援助論Ⅱ 循環器(疾患看護)
開講時期	2年次4月～6月
単位数	2
時間数	45(10)
担当講師	帯広協会病院 看護師 実務経験者 ○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患の代表的な検査治療を受ける対象の看護を理解する。 2. 代表的な循環器疾患の病態生理を踏まえ、各疾患をもつ対象の看護を理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器の検査を受ける患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 心臓カテーテル検査を受ける患者の看護 2) 心電図検査を受ける患者の看護 3) 血行動態モニタリングを受ける患者の看護 (心エコー・脈波検査) 2. 循環器の治療を受ける患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 薬物療法を受ける患者の看護 2) 心臓カテーテル治療を受ける患者の看護 3) 手術療法を受ける患者の看護 3. 疾患を持つ患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) ペースメーカーを装着する患者の看護 2) 弁膜症患者の看護 3) 虚血性心疾患患者の看護 4) 心不全患者の看護 5) 動脈疾患患者の看護 4. DC治療を受ける患者の看護 (植え込み型除細動器)
授業形式	講義
テキスト	成人看護学③循環器(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅱを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅲ 消化器(概論)
開講時期	2年次4月～6月
単位数	1
時間数	30(20)
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療を受ける患者への看護が理解できる 2. 病期や機能障害に応じた看護が理解できる 3. 治療を受ける患者の看護を理解することができる 4. 病期や機能障害に応じた看護が理解できる 5. 消化器に障害を持つ対象の特徴・問題を踏まえ、看護過程を展開する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.原因と障害の程度のアセスメントと看護 <ol style="list-style-type: none"> ①咀嚼・嚥下障害 ②消化管機能障害 ③膵液分泌障害 ④胆汁分泌障害 ⑤生命・生活への影響 2.症状に対する看護が理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> ①腹痛のある対象の看護 ②吐血・下血のある対象の看護 ③便秘のある対象の看護 ④下痢のある対象の看護 3. 治療を受ける患者の看護を理解することができる <ol style="list-style-type: none"> ①膵切除術 4. 病期や機能障害に応じた看護が理解できる <ol style="list-style-type: none"> ①炎症性疾患(クローン・潰瘍性大腸炎) ②胆石 ③膵炎 5. 看護過程展開 <ol style="list-style-type: none"> ①アセスメント ②関連図 ③看護計画
授業形式	講義
テキスト	成人看護学⑤消化器(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅲを総合して記述試験(100点満点)

授業科目	成人看護援助論Ⅲ 消化器(疾患)
開講時期	2年次5月～9月
単位数	1
時間数	30(12)
担当講師	帯広協会病院 看護師(8) 帯広協会病院 看護師(4)
実務経験者	○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査・処置を受ける患者の看護が理解できる 2. 治療を受ける患者の看護を理解することができる 3. 疾患をもつ患者の看護が理解できる <div style="border: 1px solid black; background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">令和4月4日改訂</div>
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査・処置を受ける患者の看護が理解できる <ol style="list-style-type: none"> ①造影検査 ②内視鏡検査(ERCPも含む) ③肝生検 ④腹部超音波 2. 治療を受ける患者の看護が理解できる <ol style="list-style-type: none"> ①インターフェロン療法 ②食道静脈瘤内視鏡治療 ③肝動脈塞栓術 ④肝切除術 ⑤手術療法を受ける患者の看護(食道切除術、胃がん、大腸がん) ⑥胆道・胆嚢ドレナージ 3. 疾患をもつ患者の看護が理解できる <ol style="list-style-type: none"> ①上部消化管腫瘍(食道癌・胃癌) ②下部消化管腫瘍(大腸癌・結腸癌) ③潰瘍性疾患(胃・十二指腸潰瘍) ④肝疾患(肝炎、肝硬変、肝がん) <p>皮膚排泄認定看護師範囲 ・胃瘻・腸瘻の看護 ・ストーマ増設患者の看護</p>
授業形式	講義
テキスト	成人看護学⑤消化器(医学書院) 臨床外科各論(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅲを総合して記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅳ 内分泌・代謝疾患看護
開講時期	2年次8月～9月
単位数	1
時間数	30(14)
担当講師	帯広協会病院 看護師
実務経験者	○
科目目標	1. 内分泌・代謝疾患を持つ対象の特徴と起こりやすい問題を理解する。 2. 内分泌・代謝疾患を持つ対象の看護の目的・役割と経過に応じた基本的看護を理解する。 3. 内分泌疾患を持つ対象の基本的看護を理解する。
授業内容	1. 内分泌・代謝疾患とは 2. 内分泌・代謝疾患を持つ対象の特徴 1) 内分泌・代謝疾患を持つ対象のアセスメントの視点 2) 内分泌・代謝疾患を持つ対象の看護の目的と役割 3. 経過別看護 1) 慢性期の看護 2) 急性期の看護 4. 内分泌疾患の検査 5. 内分泌疾患患者の看護 1) 下垂体疾患患者の看護 2) 甲状腺疾患患者の看護 3) 副甲状腺疾患患者の看護 4) 副腎疾患患者の看護 5) 代謝性疾患患者の看護
授業形式	講義
テキスト	成人看護学⑥内分泌(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅳを総合して記述試験(100点満点)

授業科目	成人看護援助論Ⅳ 内分泌看護過程
開講時期	2年次後期
単位数	1
時間数	30(6)
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	1. 内分泌・代謝疾患を持つ対象の特徴・問題を踏まえ、看護過程を展開する。
授業内容	事例による看護過程の展開 1) データベースアセスメント 2) 関連図 3) 問題の優先度と共同問題 4) 看護過程: グループ発表 5) 看護実践・評価(演習)
授業形式	講義・グループワーク・演習
テキスト	看護診断ハンドブック(医学書院) 成人看護学⑥内分泌(医学書院) ヘルスアセスメント(メディカ出版)
評価方法	成人看護援助論Ⅳを総合して看護過程(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅳ 血液・造血・アレルギー
開講時期	2年次9月～10月
単位数	1
時間数	30(10)
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血液・造血器疾患を持つ対象の看護上の問題を理解する。 2. 主な血液・造血器疾患患者の看護を理解する。 3. アレルギー疾患を持つ対象の看護上の問題と看護の役割を理解する。 4. 膠原病の疾患を持つ対象の基本的看護を理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血液・造血器疾患と看護の役割 <ol style="list-style-type: none"> 1) 血液・造血器の機能と疾患 2) 血液・造血器疾患患者の特徴と生じやすい問題 3) 看護の目的の役割 4) 主な症状に対する看護 1. 主な血液・造血器疾患を持つ患者の基本的看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鉄欠乏性貧血患者の看護 2) 悪性貧血患者の看護 3) 白血病患者の看護 4) 悪性リンパ腫患者の看護 1. アレルギー疾患と看護の役割 <ol style="list-style-type: none"> 1) 免疫機構とアレルギー疾患 2) アレルギー疾患の特徴と起こりやすい問題 3) 看護の目的と役割 4) 症状に対する看護 5) 生活指導 6) アナフィラキシーショックの看護 1. 膠原病患者と看護の役割 <ol style="list-style-type: none"> 2. 主な膠原病疾患を持つ患者の基本的看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 全身性エリテマトーデス患者の看護 2) 強皮症患者の看護 3) 慢性関節リウマチ患者の看護 4) シューグレン症候群患者の看護
授業形式	講義
テキスト	成人看護学④血液・造血器(医学書院) 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病・感染症(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅳを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅴ 脳神経
開講時期	2年次9月～11月
単位数	1
時間数	30(12)
担当講師	帯広厚生病院 看護師
実務経験者	○
科目目標	1. 脳神経に障害を持つ対象の特徴・問題を理解する。
	2. 脳神経に障害を持つ対象への看護の基本を学び、看護援助を理解する。
	3. 脳神経に障害を持つ対象に起こりやすい症状の基本的看護を理解する。
	4. 脳神経に障害を持つ対象の看護を理解する。
	5. 脳神経に障害を持つ対象の病態を踏まえ、看護過程を展開する。
授業内容	1. 脳神経に障害を持つ対象の特徴 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 2. 看護の目的と機能 3. 経過別看護 4. 症状別看護 1) 意識障害 2) 高次能機能障害 3) 運動機能障害 4) 感覚機能障害 5) 自立性のある機能障害 6) 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入) 7) 髄膜刺激症状 5. 治療・処置を受ける患者の看護 1) 開頭術・穿頭術を受ける患者の看護 2) 化学療法・放射線療法を受ける患者の看護 6. 疾患を持つ患者の看護 1) クモ膜下出血・脳梗塞患者の看護 2) 脳腫瘍患者の看護 3) 筋ジストロフィー患者の看護 4) 筋萎縮性側索硬化症患者の看護 5) 多発性硬化症患者の看護 6) パーキンソン病患者の看護 7) 髄膜炎患者の看護 8) 脊髄血管障害 9) てんかん 10) ギランバレー症候群 1. 事例による看護過程の展開 ・アセスメント ・看護計画と立案
	講義
テキスト	成人看護学⑦(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅴを総合して記述試験(100点満点)

授業科目	成人看護援助論Ⅴ 腎・泌尿器
開講時期	2年次6月～8月
単位数	1
時間数	30(10)
担当講師	認定看護師(4) 帯広協会病認定看護師(6)
実務経験者	○
科目目標	1. 腎に障害を持つ対象の特徴と看護の役割を理解する。
	2. 泌尿器に障害を持つ対象への看護を理解する。
授業内容	透析認定看護師範囲:1・4の3)・5・6 皮膚排泄認定看護師範囲:1・2・3・4の1)2)
	1. 腎・泌尿器に障害を持つ対象の特徴 1)腎泌尿器に障害を持つ対象のアセスメントの視点 2)看護の目的・役割 2. 症状がある対象の看護 1) 疼痛のある対象の看護 2) 排尿障害のある対象の看護 3) 血尿のある対象の看護 3. 検査を受ける対象の看護 1) 尿検査 2) 腎機能検査 3) 内視鏡検査 4. 治療を受ける対象の看護 1) カテーテル留置を受ける対象の看護 2) 手術療法を受ける対象の看護 3) 透析療法を受ける対象の看護 4) 内分泌療法を受ける患者の看護 5. 腎不全患者の看護 急性腎不全・慢性腎不全 6. ネフローゼ症候群患者の看護
授業形式	講義
テキスト	成人看護⑧腎・泌尿器(医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅴを総合して記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	成人看護援助論Ⅴ 女性生殖器
開講時期	2年次10月～11月
単位	1
時間数	30(8)
担当講師	帯広協会病院 看護師
実務経験者	○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性生殖器疾患を持つ対象の身体的・心理社会的特徴を理解する。 2. 女性生殖器疾患を持つ対象の看護を理解する。 3. 女性生殖器に障害をもつ患者の看護の目的と役割を述べるができる
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の特徴 2. 患者の役割 3. 女性生殖器に障害をもつ患者の看護の目的と役割を述べるができる。 4. 疾患の経過と看護 5. 診療介助における看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 外診時の看護 2) 内診時の看護 3) 検査・処置時の看護 6. 症状とその病態に関する看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 性器出血患者の看護 2) 帯下・掻痒感のある患者の看護 3) 自律神経失調症状・不定愁訴のある患者の看護 7. 臓器別・機能的疾患患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 子宮頸がん・体がん患者の看護 ※乳がん患者の看護は周手術期看護で学ぶ 2) 卵巣腫瘍患者の看護 3) 更年期障害患者の看護 8. 手術療法を受ける患者の看護 9. 化学療法を受ける患者の看護 10. ホルモン療法を受ける患者の看護
授業形式	講義
テキスト	成人看護学⑨女性生殖器 (医学書院)
評価方法	成人看護援助論Ⅴを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	老年看護学概論
開講時期	1年次前期～
単位数	1
時間数	15
担当講師	専任教員
科目目標	1. 老年期の発達を理解し、老化に伴う心身機能の低下とエイジングのポジティブな側面に着眼し、老年者のもつ力を洞察する視点を理解する
	2. 老年期のある方が生きている社会を理解し、看護実践におけるエンパワメントアプローチの必要性を理解する。 3. 現代を生きる老年期にある方との触れ合いを通して、個性性と多様性を理解し、老年看護における自己の課題を述べるができる
授業内容	1-1)老いるということ -2)老年看護の理念・高齢者ケアの原則 -3)老年期の生涯発達理論の概要 ・ ペック・バトラーによる老年期の危機 ・ ハヴィガーストによる発達課題 -4)老化の定義とメカニズム -5)老化による身体機能の全般的特徴 -6)老化による知能の変化と影響要因 結晶性知能と流動性知能
	2-1)老年者と社会との関わり -2)老年看護の目指すもの(理念) -3)老年看護実践の特徴 -4)死に至るプロセスを支えること 3)老年期における役割・社会的活動の変化 1)老年期にある方がどのような時代を生きてきたか方なのか生活史を調べる 2)これからどんな時代を生きようとしているのか 3)老年期にある人と青年期にある人の共通点と相違点は何かを説明する 4)上記内容についてインタビュー、グループワークを行い今後老年者を看護する際に大切にしていきたいことについて発表する
授業形式	講義・グループワーク+発表
テキスト	老年看護学(医学書院)
評価方法	レポート評価・記述試験(100点満点)

授業科目	老年保健
開講時期	3年次前期～
単位数	1
時間数	15
担当講師	中島節子(保健師)
実務経験者	○
科目目標	1. わが国の高齢社会の特徴と保険・医療・福祉対策の動向と現状を理解する。
授業内容	1. 高齢社会の定義とその要因 2. わが国の高齢社会の特徴 3. わが国の高齢社会の課題 4. 高齢社会が生活に与える影響と今後の課題
	1. 高齢社会に求められる健康観 2. 高齢者差別・高齢者虐待 3. 成年後見制度と地域福祉権利事業 4. 高齢者の人権と共生社会 1. 生涯教育と老年期の学習課題 2. 高齢者の自己主導型学習とエンパワメント 3. 高齢者の健康教育 1. 老人福祉法 2. 老人保健法 3. 介護保険制度の目的と基本理念 4. 介護保険制度による介護サービスと医療・老人福祉法との関連 5. システムの中での老年看護の場、看護師の機能の多様性と継続看護
授業形式	講義
テキスト	老年看護学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	老年看護援助論Ⅰ 臨床看護総論
開講時期	2年次前期
単位数	2
時間数	45(14)
担当講師	専任教員
科目目標	1. 老年看護観の基本となる高齢者の生活機能の視点から看護過程の展開のためのアセスメントの視点を学ぶ
授業内容	看護過程展開のための視点 1) ゴードンの枠組みに沿った老年期の身体アセスメント ① 栄養・代謝 ② 排泄 ③ 活動・運動 ④ 睡眠・休息 ⑤ 認知・知覚 ⑥ 役割・関係 ⑦ 健康知覚・健康パターン ⑧ コーピングストレス ⑨ 価値・信念パターン ⑩ 自己知覚 ⑪ 性・生殖 2) 高齢者の生活機能アセスメント ① ICFモデル・高齢者総合機能評価 ② 高齢者体験(演習)
授業形式	講義
テキスト	老年看護学(医学書院)
評価方法	老年看護援助論Ⅰを総合して記述試験(100点満点)

授業科目	老年看護援助論Ⅰ 運動器総論
開講時期	2年次4月～7月
単位数	2
時間数	45(18)
担当講師	専任教員
科目目標	1. 看護を实践するうえで必要な基本的態度・理論を理解する。 2. 老年看護を实践するために必要な思考過程とその視点について理解する。 3. 運動器疾患をもつ患者への身体的援助・心理社会的援助の概要を理解する。 4. 運動器疾患の経過に即した看護の概要を理解する。 5. 運動器疾患の主要な症状・疾患、それに対する看護の基本を理解する。
授業内容	1. 運動器疾患をもつ患者の特徴と看護の目的 2. 運動器疾患をもつ患者への看護 1) 身体的援助 2) 心理的援助 3) 社会的援助 4) 患者・家族支援 3. 運動器疾患をもつ高齢者の特徴 4. 運動器疾患の経過に即した看護 1) 急性期にある患者の看護 2) 回復期患者の看護 3) 慢性期患者の看護 4) 継続看護 5. 事例による看護過程の展開
授業形式	講義
テキスト	成人看護学⑩運動器(医学書院)
評価方法	老年看護援助論Ⅰを総合して記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	老年看護援助論Ⅰ 運動器疾患
開講時期	2年次8月～
単位	2
時間数	45(13)
担当講師	帯広協会病院 看護師
科目目標	1. 運動器疾患の主要な症状・疾患、それに対する看護の基本を理解する。
授業内容	1. 症状に対する看護 1) 神経障害 2. 検査を受ける患者の看護 1) 脊髄造影検査、椎間板造影検査 2) 膝関節鏡 3) 筋生検 3. 保存療法を受ける患者の看護 1) ギブス療法 2) 牽引療法 4. 手術療法を受ける患者の看護 5. 疾患を持つ患者の看護 1) 大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折患者の看護 2) 骨・関節の炎症疾患 ・関節リウマチ
授業形式	講義
テキスト	成人看護学⑩運動器(医学書院)
評価方法	老年看護援助論Ⅰを総合して記述試験(100点満点)

授業科目	老年看護援助論Ⅱ
開講時期	2年次後期
単位	1
時間数	15
担当講師	専任教員
科目目標	1. 高齢者の生活の質に影響を与える主要な症状・状態のメカニズムと生活への影響並びに家族も含めた看護を学ぶ
授業内容	認知症と看護ケア 高齢者の排泄と看護ケア 高齢者のスキンケア 高齢者に起こりやすい転倒のアセスメントと看護ケア 高齢者の生活リズムを整えるケア 事例をもとに高齢者に必要な看護を立案し、実践する。(演習)
授業形式	講義
テキスト	老年看護学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	小児看護学概論
開講時期	1年次 10月
単位数	1
時間数	30
担当講師	専任教員
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の概念が理解できる 2. 小児の特徴及び成長発達が理解できる。 3. 小児を取り巻く社会状況とその動向を理解できる。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の対象 2. 小児看護の変遷 3. 小児看護における倫理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもの権利条約 児童憲章 4. 小児看護の課題 <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の成長発達 2. 発達理論 ピアジェ エリクソン ハビィガースト 3. 成長の進み方 4. 成長発達に影響する因子 5. 発達評価 6. 小児各期の特徴と発達課題 新生児期 乳児期 幼児期 学童期 思春期・青年期 7. 小児の栄養 食事の摂取基準、学童・思春期の栄養 <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児と家族の諸統計 2. 小児をめぐる法律 <ol style="list-style-type: none"> 1) 児童福祉法 2) 児童虐待防止法 3) 母子保健法
授業形式	講義
テキスト	小児看護学概論 医学書院
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	小児看護援助論Ⅰ
開講時期	2年次 4月
単位数	1
時間数	15
担当講師	専任教員
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児・乳児期にある子どもの日常生活援助方法とその家族への看護が理解できる。 2. 幼児期にある子どもの日常生活援助の方法とその家族への看護が理解できる。 3. 学童期にある子どもの日常生活援助の方法とその家族への看護が理解できる。 4. 思春期・青年期にある子どもとその家族看護が理解できる。 5. 現代家族の特徴を踏まえ、親・家族への援助を考えることができる。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児の養護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日常生活の世話 2) 家族関係の調整 2. 乳児の養護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日常生活の世話 離乳食の与え方 2) 乳児の栄養 離乳食の与え方 3) 育児支援 地域サービスの活用 <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な生活習慣の獲得 2. 幼児の養護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 遊びと運動の支援 2) 育児支援 幼児の栄養 3) 予防接種 4) 事故予防 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学童期の子どもを取り巻く諸環境 2. 学童の養護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校生活への適応 2) 学習と遊び 3) 安全教育 3. 学童期の健康問題の特徴と看護 4. 学校保 <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の特徴 2. 心の問題 3. 思春期の養護 4. 思春期・青年期の健康問題の特徴と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもにとっての家族と現代家族の特徴 2. 家族アセスメント
授業形式	講義
テキスト	小児看護学概論 医学書院
評価方法	記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	小児看護援助論Ⅱ
開講時期	2年次 6月
単位数	1
時間数	15
担当講師	帯広協会病院 医師
科目目標	1. 主な疾患の病態と治療について理解できる
授業内容	1. 免疫・アレルギー性疾患 アレルギー性疾患 リウマチ性疾患 2. 感染症 ウイルス感染症 細菌感染症 3. 呼吸器疾患 上気道の疾患 気管支・肺・胸膜疾患 4. 循環器疾患 先天性疾患 川崎病 後天性心疾患 心臓律動の異常 突然死 5. 消化器疾患 6. 血液・造血器疾患 7. 悪性新生物 造血器腫瘍 その他の固定腫瘍 8. 腎・泌尿器及び生殖器疾患 腎糸球体疾患 9. 神経疾患 神経系の奇形 けいれん性疾患 10. 先天異常 11. 新生児の疾患 12. 代謝性疾患 13. 内分泌疾患
授業形式	講義
テキスト	医学書院 小児臨床看護各論
評価方法	記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	小児看護援助論Ⅲ
開講時期	2年次 9月
単位数	1
時間数	30
担当講師	専任教員・帯広協会病院看護師
実務経験者	○
科目目標	<p>1. 小児に必要な看護技術の方法を理解する</p> <p>2. 疾病・入院が小児・家族に与える影響を理解できる。</p> <p>3. 健康障害が小児および家族に与える影響を理解できる。</p> <p>4. 障害のある小児と家族の看護が理解できる。</p> <p>5. 疾病の経過における小児と家族の看護が理解できる。</p> <p>6. 疾患を持つ小児の看護を疾患別・症状別に理解できる。</p> <p>7. 事例を用いその児の状態・状況に応じた看護過程が展開できる。</p>
授業形式	講義
テキスト	小児看護学概論・小児臨床看護各論 医学書院
評価方法	記述試験(100点満点)

授業内容	<p>1. 看護技術の方法</p> <p>1) アセスメントの方法と注意点</p> <p>2) 系統別身体的アセスメント</p> <p>3) 小児とのコミュニケーション</p> <p>2. 疾病が小児・家族に与える影響</p> <p>1) 小児外来の看護 2) 小児の入院環境</p> <p>3) 小児の入院と小児・家族への影響</p> <p>4) 入院時の看護 5) プレパレーション</p> <p>3. 疾病・障害に対する子どもと家族の反応</p> <p>1) 小児の健康問題と看護</p> <p>2) 健康問題をもつ小児の家族の看護</p> <p>4. 障害のある小児と家族の看護</p> <p>1) 障害の種類と定義</p> <p>2) 障害のある小児と家族の特徴</p> <p>3) 障害のある小児と家族への援助と社会的支</p> <p>5. 疾病の経過における看護</p> <p>1) 慢性期にある小児と家族の看護</p> <p>2) 急性期にある小児と家族の看護</p> <p>3) 周手術にある小児と家族の看護</p> <p>4) 終末期の小児と家族の看護</p> <p>6. 疾患別・症状別看護</p> <p>1) 内分泌代謝疾患の看護 ・I型糖尿病</p> <p>2) アレルギー性疾患の看護</p> <p>・気管支喘息の小児の看護 発作時の看護</p> <p>呼吸困難, 酸素療法</p> <p>3) 感染症の看護</p> <p>・主要症状の看護 発熱, 発疹, 脱水</p> <p>・隔離を必要とする小児と家族の看護</p> <p>4) 呼吸疾患の看護</p> <p>・肺炎の小児の看護</p> <p>・検査及び処置時の看護 輸液管理, 鼻腔口腔</p> <p>5) 循環器疾患の看護</p> <p>・ファロー四徴症の看護 ・川崎病の看護</p> <p>6) 消化器疾患の看護</p> <p>・急性胃腸炎の小児の看護 嘔吐, 下痢</p> <p>・検査及び処置時の看護 検体採取, 与薬</p> <p>7) 血液造血器疾患の看護</p> <p>・主要症状の看護 貧血, 出血傾向</p> <p>・検査及び処置時の看護 輸血療法</p> <p>8) 悪性新生物の看護</p> <p>・白血病をもった小児の看護</p> <p>・検査及び処置時の看護 骨髄穿刺</p> <p>9) 腎泌尿器疾患の看護</p> <p>・ネフローゼ症候群の看護</p> <p>・活動制限, 食事制限のある看護</p> <p>10) 神経疾患の看護</p> <p>・主要症状の看護 けいれん 意識障害</p> <p>7. 看護過程</p> <p>1) 患児及びその家族の情報の整理、アセスメ</p> <p>2) 看護目標と計画の立案</p>
------	--

専門分野Ⅱ

授業科目	母性看護学概論
開講時期	1年次 次年1月～
単位数	1
時間数	15
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	母性看護の目的と看護師の役割を理解していくために、基礎的な理論と知識を理解する
授業内容	<p>母性看護の基盤となる概念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 母性とは 2. 母子関係と家族発達 3. セクシュアリティ 4. リプロダクティブヘルス/ライツ 5. 母性看護の理念・役割 6. 生命倫理 <p>母性看護の対象理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 2. 女性のライフサイクルと家族 3. 母性の発達・成熟・継承 <p>母性のライフステージ各期の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期 2. 成熟期 3. 更年期 4. 老年期 <p>リプロダクティブヘルスケア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族計画 2. 母子保健の国際化 3. 性感染症とその予防 4. 喫煙女性の健康と看護 5. 性暴力を受けた女性に対する看護 6. HIVに感染した女性に関する看護
授業形式	講義・グループワーク
テキスト	母性看護学概論(医学書院)
評価方法	記述試験 レポート (100点満点)

授業科目	母性看護援助論Ⅰ 新生児の看護
開講時期	2年次 次年2月～3月
単位数	1
時間数	30(12)
担当講師	専任教員(6) 帯広協会病院看護師(6)
科目目標	こどもを産み育てるために必要となる基本的な知識と技術を身につける。ここでは、新生児の胎外生活への移行過程の特徴と看護、ハイリスク新生児の生理と看護についての知識を深める。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児の基本的な看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児の生理 <ol style="list-style-type: none"> ① 新生児とは ② 新生児の呼吸・循環・体温の特徴 2) 出生直後の児の看護 <ol style="list-style-type: none"> ① アプガースコア ② 発育の評価 ③ 点眼 3) 黄疸・ビタミンK欠乏症 <ol style="list-style-type: none"> ① 生理的体重減少 ② 生理的黄疸 ③ 高ビリルビン血症 ④ ビタミンK欠乏症 2. ハイリスク新生児の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) ハイリスク児の評価と要因 2) 新生児の異常と看護 NICUについての理解 新生児仮死・分娩外傷・低出生体重児 新生児一過性多呼吸・呼吸窮迫症候群 胎便吸引症候群・低血糖 3. 周産期のグリーフケアについて考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康上の問題があるときの褥婦の看護 2) 児を亡くした褥婦・家族の看護
授業形式	講義
テキスト	母性看護学各論(医学書院) 母性看護技術(医学書院)
評価方法	母性看護援助論Ⅰを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	母性看護援助論Ⅰ 妊婦・産婦・褥婦の正常経過
開講時期	2年次 4月～6月
単位数	1
時間数	30(10)
担当講師	帯広協会病院医師
科目目標	ヘルスプロモーションの概念を理解し、妊産褥婦をアセスメントするために必要な知識を理解する。
授業内容	月経周期—不妊—STDの総論 排卵—受精—着床—不妊検査 遺伝相談 不妊症検査・治療 正常妊娠 正常分娩 正常産褥
授業形式	講義
テキスト	母性看護学各論(医学書院)
評価方法	母性看護援助論Ⅰを総合して 記述試験(100点満点)

授業科目	母性看護援助論Ⅰ 妊婦・産婦・褥婦の異常(健康障害)
開講時期	2年次 9月
単位数	1
時間数	30(8)
担当講師	帯広協会病院医師
科目目標	妊娠・分娩・産褥期において、健康障害をもつ対象を看護するために必要な知識を理解する。 妊娠期の異常 分娩期の異常 産褥期の異常 まとめ
授業内容	
授業形式	講義
テキスト	母性看護学各論(医学書院)
評価方法	母性看護援助論Ⅰを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	母性看護援助論Ⅱ (妊娠期)
開講時期	2年次 11月～
単位数	1
時間数	30(10)
担当講師	帯広協会病院 助産師
実務経験者	○
科目目標	妊娠期にある対象に必要な看護を理解する。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の心理 社会変化 ・妊娠と診断 ・妊娠期に行う検査目的 ・胎児発育状態 ・妊婦健康診査 ・基礎情報のアセスメント BMI ・妊婦の健康状態のアセスメント ・食生活の援助・排泄・清潔・更衣 ・休息・活動 マイナートラブル ・親になるための準備教育 ・ハイリスク妊娠 ・不妊治療を受けている女性看護
授業形式	講義
テキスト	母性看護学各論(医学書院) 母性看護技術(医学書院)
評価方法	母性看護援助論Ⅱを総合して 記述試験(100点満点)

授業科目	母性看護援助論Ⅱ (分娩期)
開講時期	2年次 12月～
単位数	1
時間数	30(10)
担当講師	帯広協会病院 助産師
実務経験者	○
科目目標	分娩期にある対象に必要な看護を理解する。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩期の看護の実際 ・産婦・胎児・家族のアセスメント CTGモニターの読解(演習) ・産婦と家族の看護 事例演習(グループワーク) ・分娩期の看護の実際 事例演習(グループワーク) ・異常のある産婦の看護
授業形式	講義・演習
テキスト	母性看護学各論(医学書院) 母性看護技術(医学書院)
評価方法	母性看護援助論Ⅱを総合して 記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	母性看護援助論Ⅱ (産褥期)
開講時期	2年次 次年2月～
単位	1
時間数	30(10)
担当講師	帯広協会病院 助産師
実務経験者	○
科目目標	産褥期にある対象に必要な看護を理解する。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期の身体的変化・心理社会的変化 ・褥婦のアセスメント(グループワーク) ・児との関係確立への看護 ・育児技術に関わる看護技術 ・産褥期異常の看護(事例検討) ・産褥期の精神障害への看護
授業形式	講義・演習
テキスト	母性看護学各論(医学書院) 母性看護技術(医学書院)
評価方法	母性看護援助論Ⅱを総合して 記述試験(100点満点)

授業科目	母性看護援助論Ⅲ
開講時期	3年次 4月～次年2月
単位	1
時間数	30
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	母性看護に必要な基本的技術の習得および、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について、母子保健統計・母性看護に関する組織と法律・母子保険施策の視点から理解する
授業内容	<p>1. 母性看護に必要な基本技術を習得する(15)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事例から、褥婦のエンパワメントを促進できる母児の看護過程を考え、看護計画を立てる 2) 新生児の観察技術と養育技術を習得す <ol style="list-style-type: none"> ① 出生直後から退院までに必要な観察の視点とケアを理解する ② 新生児の観察技術と養育技術を習得す ③ 沐浴の技術の演習 3) 褥婦の身体アセスメントの基本を習得す <ol style="list-style-type: none"> ① 退行性変化(子宮復古など)の観察の視点とケアを理解する ② 進行性変化(母乳の分泌促進)の観察の視点とケアを理解する <p>2. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について理解する。(15)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 母性看護の歴史的変遷と現状 ・国際看護の視点からリプロダクティブヘルス/ライツを考える。 ② 母子保健統計からみた母子の健康 ③ 母性看護に関する組織と法律 ④ 母子保健施策からみた現状 ⑤ 母性看護の対象をとり巻く環境
授業形式	講義・演習
テキスト	母性看護学概論(医学書院) 母性看護技術(医学書院)
評価方法	記述試験 前期1回・後期1回 (100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	精神看護学概論
開講時期	2年次 4月
単位数	1
時間数	30
担当講師	専任教員
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の基本概念と目的を学び、対象を理解できる。 2. 精神医療の歴史の変遷を学び、精神障害者を取り巻く社会状況について理解でき
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の基本概念 <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神看護とは 2) 精神看護の場と対象 3) 医療の課題と現状 4) 看護の目的と役割 2. 精神保健医療福祉の変遷と動向 <ol style="list-style-type: none"> 1) 欧米と日本における精神医療の歴史 2) 精神障害者における現状と課題 3) 精神医療福祉の改革ビジョン 4) 精神保健福祉法と関連制度 5) 社会資源の支援と実際 6) 障害者総合支援法 7) ノーマライゼーション 8) 我が国の精神保健活動の基本的な考 3. パーソナリティの発達と適応 <ol style="list-style-type: none"> 1) フロイトの自我の構造 2) 自我状態の分析とエゴグラム 3) 自我の社会化 4. 対象の理解と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対人関係の技術 2) 対象の理解と接近方法 グループワーク、発表 3) 対象の理解と看護 4) プロセスレコードの振り返り 5) リエゾン精神看護
授業形式	講義・グループワーク
テキスト	精神看護学の基礎(医学書院) 精神看護の展開(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	精神看護援助論Ⅰ
開講時期	2年次 5月
単位数	1
時間数	30
担当講師	帯広協会病院 医師(20) 中島節子(10)
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心の健康と現代社会における心の働きを理解す 2. 精神疾患、症状、状態像を理解できる。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の心のはたらきとパーソナリティ <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の援助 2. 地域における精神保健と精神看護 <ul style="list-style-type: none"> ・学校における精神保健と精神看護 ・職場における精神保健と精神看護 ・災害と精神看護 3. 家族への看護 家族療法 4. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス 5. 精神症状と状態像 6. 精神障害と診断と分類 7. 精神科での治療 <ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法、電気けいれん療法
授業形式	講義
テキスト	精神看護学の基礎(医学書院) 精神看護の展開(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門分野Ⅱ

授業科目	精神看護援助論Ⅱ 対象の特徴と看護・看護過程	
開講時期	2年次 9月	
単位数	1	
時間数	30	
担当講師	看護師(15) 専任教員(15)	
科目目標	1. 精神に障害のある対象の特徴と看護をできる。 2. 精神に障害のある対象への看護過程の展開を通して、対象の全体像を理解でき	
授業内容	1. ケアの人間関係 2. 回復をたすける様々なプログラム(SST) 3. 精神科の治療と身体のケア 4. 主な障害を持つ患者へのアプローチ 1) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 2) 気分障害(双極性障害および関連障害抑うつ症候群) 3) 神経症性障害(恐怖症性不安障害、強迫障害、ストレス関連障害、身体表現障害) 4) 摂食障害 5) 性機能不全・性同一性障害 6) パーソナリティ障害 7) 知的障害 8) 神経発達障害(DSM, ADHD) 9) 秩序破壊的・衝動制御・素行障害 5. リスクマネジメントの考え方と方法 自殺、暴力、無断離院 6. 精神看護における観察 7. 起こりやすい問題とアセスメントの視点 8. 統合失調症(慢性期)、気分障害の対象に必要な看護の展開 ・データベース、アセスメントの視点 ・起こりやすい問題 9. 看護過程の展開 ・事例紹介 ・データベース整理 ・関連図 ・看護計画立案	
授業形式	講義・演習	
テキスト	精神看護の基礎(医学書院) 精神看護の展開(医学書院)	
評価方法	記述試験・看護過程演習 (100点満点)	

授業科目	精神看護援助論Ⅲ	
開講時期	3年次 4月	
単位数	1	
時間数	15	
担当講師	帯広協会病院 ソーシャルワーカー 佐竹隆嗣	
科目目標	1. 地域における生活支援の実際を学び、精神保健福祉における看護の役割を理解する。	
授業内容	1. 精神科リハビリテーションと地域精神保健 2. 地域におけるリハビリテーションサービス 3. 精神科リハビリテーションと今後の課題 4. 精神障害者に対する福祉施策	
授業形式	講義	
テキスト	精神看護学の基礎(医学書院) 精神看護の展開(医学書院)	
評価方法	レポート(100点満点)	